公開フォーラム アメリカ大陸古代文明の 神秘のベールをはがす

日時:2014年4月19日(土)13:30 - 17:00 (13:00 受付開始) 会場:法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナード・タワー(スカイホール) 参加費:無料 先着180名(申し込み不要)

> 日本から遠く離れたアメリカ大陸に成立した古代文明であるマヤとアンデスは、つ ねに神秘のイメージで語られてきた。忽然と姿を消し、現代人が理解できない謎の 玉芸品や建築を遺したことをもって地球外生物の仕業とする見方もあいかわらず絶 えることはない。しかし、古代文明の探究は、エキソチシズムに基づく趣味の世界 でもなければ、閉塞感の漂う現代社会からの脱出を目的とするものでもない。むし ろ、人間の創造力の結晶を探索することであり、今生きている社会の傲慢さを暴き、 私たちの将来を照らす作業なのである。今回のフォーラムでは、古代文明の現場で 活躍する研究者を招き、最先端の研究を紹介してもらうだけでなく、研究を実現し ていくまでの道のりについても大いに語ってもらう予定である。

> > [写真]クントゥル・ワシ遺跡:撮影 大貫良夫

[プログラム]

- 13:30-14:20 基調講演「行きつ戻りつアンデス古代 アンデス研究をふりかえる」
 - 大貫良夫(野外民族博物館リトルワールド館長・東京大学名誉教授)
- 14:20-14:30 休憩
- 14:30-17:00 シンポジウム 「古代文明の終焉」
- パネリスト 青山和夫 (茨城大学教授)「マヤ文明は古典期に崩壊しなかった:最新の調査研究から」
 - 坂井正人(山形大学教授)「ナスカ社会と地上絵の終焉」
 - 渡部森哉 (南山大学准教授)「国家に抗する社会カハマルカ」
 - 佐々木直美(法政大学准教授)「アヤクチョの祭りと移民たち」
- 総合討論司会 関 雄二(国立民族学博物館教授)

「主催」法政大学国際文化学部 国立民族学博物館・科学研究費補助金基盤研究(S) 「権力の生成と変容から見たアンデス文明史の再構築」(研究代表者:関雄二) 【共催】アンデス文明研究会・法政大学アンデス文化研究会 【協力】古代アメリカ学会

公開フォーラム:アメリカ大陸古代文明の神秘のベールをはがす

[写真]ナスカの地上絵(ハチドリ) ⓒ山形大学ナスカ研究所

[講師プロフィール]

大貫良夫



東京大学名誉教授・野外民族学博物館リトルワールド館長。専門はアン デス考古学。コトシュ遺跡、クントゥル・ワシ神殿発掘などから得られ たデータを基に古代アンデス文明の形成過程を研究している。 著書「アンデスの黄金クントゥル・ワシの神殿発掘記」(中公新書)、 「夢の風景」(中央公論新社)、「黄金郷伝説エル・ドラードの幻」(講談 社現代新書)

青山和夫



茨城大学教授。専門はマヤ考古学。グァテマラ、ホンジュラスの現地調 査から、先古典期と古典期のマヤ文明、手工業生産と日常生活、環太平 洋の環境文明史を研究。 著書「古代マヤ 石器の都市文明」(京都大学学術出版)、「マヤ文明 密

林に栄えた石器文化」(岩波新書)など。

● 坂井正人



山形大学教授。専門はアンデス考古学、文化人類学。古代アンデス社会 を対象とした景観考古学的研究を実施している。これまでナスカ、イン カ、チムー、形成期などの諸遺跡で現地調査を行ってきた。 著書「ナスカ地上絵の新展開」編著(山形大学出版会)、「ラテンアメリカ」 共編著(朝倉書店)、「Reyes,Estrellas y Cerros en Chimor」(Editorial

共編著(朝倉書店)、「Reyes,Estrellas y Cerros en Chimor」(Editor Horizonte)

● 渡部森哉



南山大学准教授。専門はアンデス考古学。南米アンデス地域に発展した ワリ国家の拡大過程、および地方支配の実態を、ペルー北部高地で調査 研究している。 著書「インカ帝国の成長―先スペイン期アンデスの社会動態と構造」(春 風社)ほか。

[会場アクセス]



第二部 「アンテス音楽」 17:10~17:50



演奏:「グルーポ・アルトゥラス」
捧俱子(ギター) 西牧利雄(チャランゴ)
池谷楯子(ボンボ) 鹿野明子(サンポーニャ)
池谷武(サンポーニャ・ケーナ)
久保圭三(ケーナ・サンポーニャ)
沢田麗子(ケーナ・サンポーニャ)







法政大学准教授。専門は文化人類学、ラテンアメリカ地域研究。ペルーの舞踊と現代社会を研究テーマとしている。

著書「講座 世界の先住民族 中米、カリブ、南米」共著(明石書店)、 「ペルー 民衆文化に現れるエスニシティとアイデンティティ」共著(朝 倉書店)など。

国立民族学博物館教授。専門はアンデス考古学、文化人類学。南米ペルー において神殿の発掘調査を行い、アンデス文明の成立と解明に取りくん でいる。

著書「アンデスの考古学」(同成社)、「古代アンデス 権力の考古学」(京 都大学学術出版会)、「古代アンデス 神殿から始まる文明」(朝日選書) など。

- 地下鉄都営新宿線:市ケ谷駅 (AlorA4) 下車徒歩 10 分
- ●地下鉄大江戸線:飯田橋駅(B2a)下車徒歩10分

【問合せ先】 国立民族学博物館 関研究室 TEL 06-6878-8252 E-mail: sekiken@idc.minpaku.ac.jp